

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：
 滋賀県守山市立物部小学校

活動名：
 全校での授業方式の統一
 ～全クラス共通の学習様式で授業する～

解決すべき課題：
 学年、学級によって、授業形態に統一性がないと、同じテーマに基づいた校内研究の成果がはかりづらい。

目標・方針：
 すべての教員が同じ教育目標に向けて、全校統一の授業形式である「MONOBEメソッド」を取り入れ、授業づくりの研究を行う。メソッドの定着状況を児童アンケートで確認し、できているところとできていないところを整理し、その後の授業改善に生かす。

活動内容：全教員が統一した方式（MONOBEメソッド）で授業に臨む

- 賞賛と励まし：1 時間に 5 回以上ほめる。
- 学習規律：始まりと終わりの挨拶の統一。発言するときは、挙手をして起立。
- ノート指導：自分の考えが溢れるノート。考えが変わったり、間違えても、消しゴムで消さない。
- 学び合いの手法：話し合い活動を取り入れる。自分の意見をハンドサインで示す。
- 黒板の使い方：前面黒板は、学習に使う。背面黒板は、学級生活の見通しが持てるように使う。

活動の成果：
 MONOBEメソッドの学習成果を児童アンケートから分析すると、12の項目のうち、10の項目で達成度が上がった(表1)。特に、ハンドサインを使って、全員の児童が「賛成」「反対」「新しい考え」「質問」「その他」のいずれかの意見を学級で表現できるようになったかという質問に対して、できるようになったという児童が10パーセント以上増えた。また、背面黒板で学級生活の見通しが持てるように使えているかの質問に対しても、肯定的な意見が、10パーセント近く増えた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 月に1回以上、MONOBEメソッドに特化した授業研究をした。
- ハンドサインを示した図を各教室に掲示した。
- 見本になる児童のノートを1階廊下のディスプレイに映して、児童全員が見られるようにした。
- 次年度以降、担任が変わっても、授業形態は引き継ぐことができる。

<写真、図表添付欄>

		12月				3月			
(表1)		A◎	B○	C△	D×	A◎	B○	C△	D×
1	あなたやクラスの友達は、授業の中で、先生によくほめられますか。	30%	47%	18%	4%	33%	47%	16%	4%
2	授業の始まりと終わりは、きちんとあいさつができていますか。	66%	25%	7%	2%	73%	22%	4%	1%
3	発表するときは、手を挙げて、立って発表していますか。	72%	19%	6%	3%	74%	18%	6%	2%
4	ノートには、日付、めあてを書いていますか。	80%	14%	4%	2%	83%	13%	3%	2%
5	ノートには、自分の考えを書いていますか。	58%	29%	10%	4%	60%	28%	10%	2%
6	自分の考えや間違いに気付いても消さずに残っていますか。	48%	30%	14%	8%	45%	35%	14%	7%
7	授業の中で、ペアやグループで話し合いをしていますか。	59%	28%	9%	4%	64%	27%	7%	2%
8	ハンドサインを使っていますか。	50%	24%	16%	10%	60%	23%	11%	6%
9	授業の最後に学習やめあての振り返りをしていますか。	49%	33%	12%	6%	52%	32%	13%	3%
10	前の黒板を使って発表したり話し合ったりしていますか。	41%	30%	19%	11%	44%	34%	16%	6%
11	後ろの黒板を使って学級会の予定を知らせたり、議題を集めたりしていますか。	33%	29%	21%	16%	42%	33%	15%	10%
12	学年で決められた時間、家庭学習をしていますか。 (1・2年 30分 3・4年 45分 5・6年 60分)	51%	27%	14%	9%	49%	26%	15%	10%





